

令和元年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ハラレ中央病院における障害児のリハビリ及び保護者の研修施設建設計画」引渡式

5月19日、令和元年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ハラレ中央病院における障害児のリハビリ及び保護者の研修施設建設計画」（リハビリ施設等の建設のための資金提供）により完成した施設の引渡式が開催されました。

同プロジェクトでは、同地域で活動しているNGO「ハラレ中央病院小児科基金」により、障害児のリハビリや保護者を対象としたワークショップを実施するための施設（小児リハビリユニット）が整備されました。

同プロジェクトが完成する以前は、1986年に建設された既存施設の老朽化に加え、小児病棟から離れた建物の2階に位置していたことから、障害児によるアクセスが困難な状態にあり、重度の障害を抱え、車いすを必要とする障害児は、遠くかつエレベーターのない旧施設への通院を諦めざるを得ない状況でした。

同式典において、ハラレ中央病院長代理ほか関係者から、日本の当病院への継続的な支援に対する感謝の意が述べられました。また、田中大使は、長年にわたり多くの子どもたちを支援しているハラレ中央病院小児科基金を称賛するとともに、新しく建設した施設が、障害のある子どもやその家族にとって有効なものとなり、すべての子どもが偏見を受けずに、社会的に認められる社会になってほしいと述べました。



施設の利用開始のテープカット



病院長から施設の説明を受ける田中大使



施設を利用する障害のある子どもと保護者



施設を利用する障害のある子どもと保護者



研修施設の隣に設置した遊具



保護者からの感謝のダンス



田中大使、病院長、ハラレ中央病院小児科基金代表、病院スタッフ